

◎八木勝自「重度身体障害者の地域生活 自立と社会参加」

昔からの障がい者に対する社会における考え方は冷たいものだったんだとわかりました。障がいの有無にかかわらず、人として同じように自立に向け生活できるように、1人1人が目を向け、考える社会を作っていかなければならないと感じました。

(40代女性：デイサービス)

自身が理想とする理念に近いことを、八木理事長が実践されていて、心強く感じました。

健常者と障害者の垣根を超えて、老いも若きも相互に自立して助け合える社会づくりを目指して、自身も励もうと思いました。

(40代男性：文福アルバイト)

八木さんが後半で述べられておりますが、介助と介護は違うと言う事が印象に残りました。

そして、障害者の以前の自立観と近年の自立観は大きく違うのだと教えられ納得しました。そうか、私たち介助者は常に障害者の指示通りに動く事を念頭において、自分の考えなど押し付けられない事なのだ。

(60代女性：文福アルバイト)

◎福田文恵「基礎的な介護技術」

講義では、「心理的介助技術の重要性」のところが印象に残っています。教官と傾聴、需要的雰囲気を作り出す技術は何とかなりそうですが、情報を伝える技術、情報を引き出す技術は、もっと勉強していかななくてはならないと思います。

(60代女性：文福アルバイト)

一番心に残ったことは“指示通りの確にやってほしいこと、出来ない事ははっきり出来ないと言って欲しいこと、嫌な顔をしながらして欲しくないこと”です。本当にその通りだと思います。自分が利用者側だとしたら、ちょっとでも嫌な顔を見せられたら居たたまれなくなると思います。介助者の人間性が問われる仕事、大変な仕事だと、改めて感じました。介助の仕事に関わらなくても、日々、人の関係で生きている私たちであります。毎日の生活の中で、人間関係を築けるように努力していきたいです。

(60代女性：一般)

介助者は黒子である。介助受ける人の思い通りにし、失敗してもそれが経験になり、成長もするし、又反省もしてもらう。

介助者は利用者のエンパワーメント発揮されるようにし、発揮されないで終わることのないようにする。利用者が依存しかなければ利用者の価値がなくなってしまう、介助者達による管理がされるだけになる。

(60代女性：文福アルバイト)

◎平井誠一「人権について考えよう」

バスジャック抗議行動のビデオを見て、1970年代はこんなひどい事があったのかとおどろいた。

ただ、今も乗車拒否こそないと思うが、障がい者の方（車いす）に暴言をはく運転手のバスに何度か乗り合わせた事があるので、まだ完全には障害者の方の人権は守られていないなと思った。

（10代女性：高校生）

すべての障がい者が安心して暮せる制度や行政になっているか？をあらためて考えさせられました。

障がい者に対する人権をしっかりと考えた地域であるように考えていきたいと思いました。

（40代女性：デイサービス）

バス乗車拒否の映像はショッキングでした。

障害者差別解消法については法律が作られなくても人間として手を貸す行為は当たり前の事として子らに教えたいものです。

そのような社会が当たり前になりますよう願います。

（60代女性：文福アルバイト）

◎日下正秀・河上千鶴子「基礎的な介護技術」

利用者の求めるライフスタイルに応じた家事、方法で行える知識は大切だと思った。

（20代女性：文福スタッフ）

実習を取り入れて、楽しく学ぶことができました。

利用者さんの要望を正確に聞き取り、切り方にあらわすことの難しさを感じました。一つの献立には、いくつもの過程がありますが、利用者さんとのコミュニケーションを図りながら、利用者さんのイメージに近い料理に近づけていくこと、これは大変なことだと思いました。

(60代女性：一般)

障がい者の方、ここの身体状況をしっかり把握した上で、安全・安心な方法で介助することが大切であると感じました。

また、必ず声かけをし、動作についてもゆとりをもつ必要性があると思いました。

(50代女性：デイサービス)

### ◎日下正秀・吉田彰「基礎的な介護技術（実技編）」

障害者一人一人があった技術があり、お互いに楽で効率のよい方法を探していきたいと思います。

(60代女性：文福アルバイト)

利用者の体の状態による動かし方もそうだが、自分自身の体をどう使いながら、お互いにできる限り少ない負担でできるかを考えることは、継続的に介助していく上で、必要不可欠だと思い、気をつけたいと感じた。

(20代女性：文福スタッフ)

◎「障害者とまちへ出よう」

良い天气に恵まれ楽しい時間でありましたが、悪天候となった時を考えると、街にはまだまだ障がい者にとっても健康な人にとっても、やさしくない所が多いんだと感じました。

障がいのある方にとって優しい環境をつくりあげていけたらよいなあと思いました。  
(40代女性：デイサービス)

車椅子の障害者の方と初めてまちに出た印象深い時間でした。

いつもと違う風景を感じ、市電やバスの不便を感じるなど、大変貴重な経験になりました。特に外食をする際の不便さを感じることができて良かったです。  
(40代男性：文福アルバイト)

◎「感想」

何の知識も経験もない状態での参加で緊張していたのですが、学ぶことが多く、参加できてよかったなと思いました。

(10代女性：高校生)